

新年賀謹



町長
福島 世二

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまと共に新春を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年中は、町政の各分野に渡り、皆さまの温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、防災に関しては、かねてより懸案でありました、町民の安全・安心のための情報発信施設の「防災行政無線」の再整備を、35年ぶりに行うことができましたことに關して、まずは一安心といったところかと思



町議会議長
鈴木 保昭

新年、明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は大きな災害等もなく、農業ではじやがいもをはじめ、野菜や米などの農作物は温暖な氣候の中で順調に生育し豊かな恵みをもたらしました。

また、我が町の基幹産業である観光も140万人という記録的な観光客が倶知安・ニセコに宿泊され、特に諸外国からは「やつぱりニセコ」の評判の通りパウダースノーを求めるお客様で国際都市「倶知安町」の名前は高まるばかりであります。

また、倶知安町はスイスのサンモリッツと姉妹

います。

また、昨年はサンモリッツ姉妹都市提携50周年の年であることから、5月にサンモリッツから、アスプリオン市長をはじめ6名の訪問団と、ブルーヘル駐日スイス大使をお迎えし、記念式典を行い、さらなる友好交流を深めるための「共同宣言」を交わしました。

さらに7月には、私と鈴木議長をはじめ23名が訪問団として、スイス・サンモリッツを訪問し、記念行事や観光・文化交流を通じ、友好の絆を深めてまいりました。

昨年の明るい話題としては、平成24年に事業認可が下りた「北海道新幹線・新函館～札幌間」の事業推進のため、4月に旧ハローワーク跡に「鉄道運輸機構・新幹線事務所」が開設し、測量と一部トンネル工事が始まりました。さらには「北海道自動車道・共和～余市間」の事業化が6月に決定し、残りの「共和～倶知安間」に

都市締結50周年の記念すべき輝かしい年を迎えることができました。サンモリッツからは市長をはじめ6名の訪問団のご来訪を賜りました。これもひとえに、世界のサンモリッツとの姉妹都市に対する町民の皆さまの誇りと日頃の理解とご協力によるものと深く感謝を申し上げます。この記念すべき節目にあたり、スイス大使ご夫妻のご来訪もいただきました。数々の記念事業を実施いたしました。が、倶知安の短い夏を楽しんでいた皆さまとともに祝い、喜びを共有することができました。また、町長を団長に町民友好団がサンモリッツを訪問致しまして、更にこれからの友好を再確認致しました。

福島世二町長は今期限りで引退されますが、長きにわたり町政を担っていただき心から敬服と感謝しております。そして新しい時代の倶知安が始まりますが、心ひとつにして明るいまちを創らなくてはなりません。

議会もここ数年で議会改革が加速度的に進み、12月定例会では総合計画や都市計画も議会で積極

ついても、近い将来の事業化が見通せる段階に來ていると思います。ニセコひらふスキー場地区の国際的な評価も、全国で10地域あるブランド観光圏の一つとして認定されたことで、今後ますます高くなっていくと考えます。本町の未来には明るい要素が数多くあり、今後さらなる発展を遂げるものと確信しております。

私は1月27日までの今期をもって、町長の職を辞することいたしました。行政は継続なり、私は健全な財政運営に努めてきたつもりであります。今後新たに発足する次の体制にしっかりと引き継いでいただき、倶知安町のなお一層の限らない発展と、町民皆さまが健康で、幸せな一年をお過ごしになりますことを心からご祈念申し上げますとともに、2期8年間、私を支えていただきました議員各位、町民の皆さまに深く感謝申し上げます。

的に審議できるよう議員提案で条例を制定致しました。今後、新幹線・高速道路など来るべき新時代に向けてまちづくりを積極的に推進するとともに、羊蹄山麓の中核都市として更に存在感のあるまちづくり、町民生活に直結したまちづくりを「交流と創造」輝く倶知安の将来都市像のもと、積極的に推進してゆかなければなりません。給食センターの着工、保育所の新築、役場の耐震化など今年はそれらの整備事業や計画など積極的に取り組む姿勢が必要です。

輝かしい2015年の新年のスタートをきりましたが、倶知安町議会は町民の皆さまが未来に夢と希望を抱き、未来に誇れるまちづくりを推進するために議員一人ひとりが行政チェック能力の向上を図り、人が元気・人が輝くまち倶知安のさらなる飛躍と発展を目指して努力を続けてまいります。

終わりに、本年が、皆さまにとって輝かしい飛躍の年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。